

三菱マテリアル株式会社
三菱地所株式会社

三菱マテリアル株式会社と三菱地所株式会社の共同事業であるOAP（大阪アメニティパーク：大阪市北区）につきましては、環境に最大限配慮し開発を進めてまいりましたが、一部新聞におきまして、土壌汚染問題で住民に不安が広がりつつあるとの報道がなされました。

私どもは、報道で指摘されているような生活安全面での問題はないと確信しており、その旨OAP内のマンションにお住まいの方々やテナントの皆様に対して説明資料を配布致しました。さらには第三者機関による生活安全面での調査報告書を受領すべく準備を進めております。

1. 旧大阪製錬所操業期間中の状況

OAPは、三菱金属株式会社（現三菱マテリアル）大阪製錬所の跡地を再開発したものです。同製錬所は1891年、宮内庁御料局生野支所附属製錬所として発足し、1896年に三菱合資会社に経営移管され、1918年に三菱鉱業株式会社（現三菱マテリアル）に継承されました。1989年に閉炉するまでの通算して約1世紀にわたり、わが国でも有数の製錬所として非鉄金属製錬・銅加工等を行い、産業・社会の発展に貢献しました。この間、同製錬所は、関係法令等を遵守し、監督官庁のご指導のもとに操業しており、従業員や周辺住民への健康被害の事例は発生しておりません。

2. 以前に実施した土壌調査の結果

旧大阪製錬所は、明治時代からの長い操業の歴史があることなどを勘案し、1989年1月より開発準備のために敷地内のボーリング調査を実施しました。工事にあたっては、土壌に関わる法規制がなかったために、環境庁告示「土壌の汚染に係る環境基準について」（1991年—平成3年—8月23日付告示46号）による環境基準の達成維持に努めました。具体的には「市街地土壌汚染に係る暫定対策指針」（1986年—昭和61年—1月）に留意して調査を進めることとし、その目的でまず20m間隔で、深さ10～20m、141本のボーリング調査を実施し地下土壌の分析を行いました。調査の結果、部分的に上記告示の重金属の土壌環境基準を超過していることが判明し、その成分を分析した結果、それが過去の製錬工程から発生した副産物（鉱さい）であることが判明しました。

3. 対策工事の実施

一連の調査結果を踏まえて、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に則り処理処分の作業に着手して、合計約30億円をかけて204千立方メートルを1994年12月までに撤去搬出し処分しました。

工事実施にあたっては、小区画ごとにサンプリングを行ない、チェック後に掘削を進めました。なお連続地中壁外側の一部は、現位置で不溶化処理を実施しました。

4. 地下構造物の外部との遮断状況

超高層建築を支持する大規模な地下構造物を施工するための土留め工法として鉄筋コンクリート製の連続地中壁（厚さ60～80cm深さ42m 延長約900m）、またマンション部分はソイルセメント柱列壁（径60cm 深さ21m 延長約500m）を採用していますが、これらは遮断壁の機能をも持ち、水平方向に遮断できる構造になっています。また下部方向は不透水層である粘土層によって、上部については基礎版コンクリートで遮断されており、さらには表層はコンクリートやアスファルト舗装、

または客土され、覆土されていますので、地表下部分の土壌が外部に飛散することはなく、生活安全面への影響を及ぼさない構造になっています。

5. 湧水の状況

○APの敷地には、通常のビル同様に湧水が発生しています。水質検査によって湧水の一部に重金属を検出したことから、その推移を観測し下水道への放流前に適切な濃度管理を行なっています。放流水の重金属濃度は下水道法に定められた下水排出基準値以下であり、湧水放流による生活安全面への悪影響はありません。

6. まとめ

以上のように生活安全面での問題はないものと認識していますが、湧水の状況を引き続き監視する一方、皆様にご安心いただけるように第三者機関による生活安全面での調査報告書を受領すべく準備を進めています。

その調査結果につきましても年内を目途に公表させていただきたいと考えています。

1. ○AP（大阪アメニティパーク）概要

○AP Towers

●所在地：大阪市北区天満橋一丁目8番30、50、60

●敷地面積：36,476.20m²

●建物：○AP Towers（業務・商業・ホテル）

延床面積：257,963.53m²

竣工：平成8年1月

建築主：三菱マテリアル株式会社、三菱地所株式会社

○APレジデンスタワー

●所在地：大阪市北区天満橋一丁目8番10、15、5

●敷地面積：15,034.97m²

●建物：○AP Towers（業務・商業・ホテル）

○APレジデンスタワー

延床面積：71,683.08m²

総戸数：518戸（東館224戸、西館294戸）

入居開始：〈東館〉平成10年3月、〈西館〉平成12年12月

事業主：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、株式会社菱金、株式会社大林組

○APアートコート

延床面積：469.88m²

竣工：平成10年2月

建築主：三菱マテリアル株式会社、三菱地所株式会社

2. 最近の湧水の状況

mg／リットル

	砒素	セレン	銅	pH
4月15日	0.65	0.02未満	0.03	8.3
5月27日	0.18	0.02未満	0.02	8.1
6月 4日	0.22	0.02未満	0.05	7.9
7月10日	0.23	0.02未満	0.07	8.0
8月 6日	0.10	0.02未満	0.12	7.7
9月 5日	0.29	0.04	0.06	7.2
下水排出基準 (ご参照※)	0.1以下	0.1以下	3以下	5~9

※上記湧水は、放流前に濃度管理を行ない、下水道法に定められた下水排出基準以下で放流されています。

以上